

令和4年度 第2回嘉麻市差別のない人権が尊重されるまちづくり審議会 会議録

- 審議会の名称 令和4年度 第2回嘉麻市差別のない人権が尊重されるまちづくり審議会
- 開催日時 令和5年2月15日（水）14時00分から15時10分
- 開催場所 本庁舎5階 5A会議室
- 公開又は非公開 公開

●出席者

(1) 出席委員 8名

森山 沾一 委員・小川 史佳 委員・古川 勤 委員・大里 茂晴 委員
古賀 恒也 委員・福澤 和彦 委員・大里 佳穂 委員・有江 真由美 委員

(2) 欠席委員 3名

頼金 豊子 委員・秋山 真沙代 委員・田中 浩二 委員

(3) 事務局

人権・同和対策課 課長 大塚 千穂子・係長 松岡 幸宏

●傍聴人数 0人

●会議次第

1. 開会のあいさつ

2. 議 題

(1) 嘉麻市人権・部落問題に関する市民意識調査の結果について

(2) その他

3. 閉会の言葉

●審議の内容

① 会議録確認者の指名について

大里 佳穂 委員に決定

② 議 題

◎議題 (1) 嘉麻市人権・部落問題に関する市民意識調査の結果について…資料(1)、

【事務局より全体を通しての報告】

新たな委員もいるため、令和3（2021）年度に実施した調査の概要を説明する。

- ・ 地域社会では社会情勢が変化中、新型コロナウイルスに関する新たな差別事象が発生するなど、現在においても差別は根強く残っている状況にあるなか、国・県においては、差別の解消を目的とした法律等を施行・整備され、嘉麻市でも令和2（2020）年3月に「嘉麻市差別のない人権が尊重されるまちづくりの推進に関する条例」を施行したところである。
- ・ 今回の調査は前回（2012年）より9年が経過していることから、今後の人権教育・啓発の方向性を見出すため、新たな人権に関する法律等の認知度や人権意識につ

いての現状や課題の把握することで、効果的な取組を推進していくために行った。

- ・調査対象：令和3（2021）年8月1日現在の18歳以上の市民。
年齢階層、性別、地域ごとに無作為に2,000人を抽出する。
- ・調査期間：令和3（2021）年9月1日（水）から9月30日（木）まで
回収結果は627名 回収率は31.35%
- ・調査内容については大きく4つに分け、全体で38問を設定した。

これ以降は、「人権問題全般」、「様々な人権問題」、「様々な人権問題の啓発」について分析結果を説明する。

最後に、今回の調査結果を基に、全庁的な人権施策の連携を図り、総合的かつ具体的に取組む「人権教育・啓発実施計画」の見直しに反映すること、また、3月議会定例会 民生文教委員会において、この「市民意識調査報告」の説明を行うことを伝える。

【質問事項】

（委員）

無関心（関心のなさが）というところが大きなところだと思う。

それに対し調査をする際に、受け取った方が調査票を開いてもらえる、回答することで何かの役に立つと思ってもらえるといった、興味を持たれるようなことは行ったか。

（事務局）

調査の趣旨などは広報誌などで行い、なるべく見やすいよう行った。

啓発冊子に関する調査結果からも、全戸配布はしているが、「読んだことがない」、「知らない」という方が多数おられる。調査も同様にその手法などを工夫し、手に取り内容を見て回答してもらえるよう、皆さんのご意見も拝聴しながら考えていきたい。

（委員）

例えば研修会の参加状況（1回から2回、3回以上など）に応じた他の回答状況をクロス集計したか。

（事務局）

年代別・男女別といったデータ集計はしている。クロス集計は予定していない。

（委員）

研修会など参加回数が多い方は、意識が高いのではないかと考えている。つまり研修を重ねていくことによって、その効果が上がるのではないかということである。

（委員）

感想ではあるが、「人権が尊重されていますか」とかLGBT（性的少数者）という言葉の認知度が高く、すごいなと感じた。

市の研修会や啓発冊子、広報への掲載などと合わせて、テレビやオリンピックでも取り上げられたこと、昨年は水平社より100年ということで新聞でもかなり部落問題を取り上げられた記事が増えているなど感じている。

新聞などの記事、行政の啓発などで触れる機会が増えていくと、「難しい」「避けて通ろう」と思われがちな人権の問題に対し、意識が変わってきているのかなと感じる。

部落問題についても「学校で初めて知った」という方が多く、こういうことから見ると、自信を持って子どもたちに正しいことを伝えていくことを、継続的にやっていくべきだと感じた。

(委員)

テレビやインターネットの影響が大きく、現在そういう傾向にあるというのが、差別への関心というところにも出てきているのではないかと。

(事務局より、資料①について)

誤字やパーセンテージなどの訂正箇所があるため、精査した資料を会議録と一緒に再送付させていただきたい。

◎議題(2)その他について

【事務局報告】

令和5年度に予定しているものを報告。

- ・ 各関係機関及び関係団体において、人事異動や役員交代等による選出変更となれば事務局へ連絡依頼を行う。
- ・ 嘉麻市人権教育・啓発実施計画の実績について、令和4年度のものについても本年度と同様に集約し、早いうちに報告する予定であること。
- ・ 現在の実施計画は令和3年度から令和5年度までの3ヶ年度のもので、関係部署と協議し、令和6年度からの実施計画の策定予定であること。
- ・ 令和5年度においては、本審議会において7月の同和問題啓発強調月間などでの研修会へ参加する計画を立てていること。
- ・ 7月の同和問題啓発強調月間では、嘉麻市においても独自にイベント(人権のつどい)予定であること。

③ 閉会の言葉

以上

●配布資料

1. 会議次第
2. 資料(1)人権・部落問題に関する市民意識調査報告書(簡易分析版)
3. 【参考資料】市民意識調査票

上記に相違ないことを確認する。

令和5年2月27日

会議録確認者 大里佳穂 委員